

# 平成23年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	延長保育事業		基本目標	保育サービスの充実		
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	黒木 愛	評価者	井上 敏郎
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください					
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)				

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	保育所に入所している児童で、保護者の就労時間等のやむを得ない事由により、開所時間の前後の時間において保育が必要な児童									
	意図・目的	保護者の就労形態の多様化、通勤時間等の増加に伴う保育時間の延長に対する需要に対応し、就労と育児の両立の支援を推進し、安心して子育てができる環境の整備を図る。									
事業の内容	通常の保育事業のほか、開所時間を越えた延長保育を行う。公立1園、私立の認可保育園6園が実施。私立保育所に対して、事業を実施するための保育士の賃金費用等の一部を補助する。										
22年度決算額	18,900	千円	23年度予算額	18,900	千円	事業従事者数	H22 0.04	人	H23 0.03	人	
主な支出項目	補助金	18,900	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	270 千円			
			千円	県支出金	12,600	千円	23年度人件費	196 千円			
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)	33.3	%		
			千円	一般財源	6,300	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください				
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input checked="" type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		延長保育事業補助金						
	補助交付団体		補助金要綱		高鍋町私立保育所延長保育事業実施要綱						
	22年度	補助額	18,900,000	円	補助の形態	国県補助	23年度補助額	12,600	円	終期	年度
		団体の決算額	22,343,226	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等						
補助の割合		84.6	%								
	繰越額	0	円								

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 町内実施園数	保育時間の延長を要望する家庭の児童を保育する施設を満たす。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 事業担当保育士の配置	延長時間、担当職員数など適正な体制がとられている。
	2	
	3	

## ◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	町内実施園数	目標値	3	7	7
		実績値	3	7	
		達成率	%	100.0%	100.0%
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	事業担当保育士の配置	目標値	2	2	2
		実績値	2	2	
		達成率	%	100.0%	100.0%
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

事務事業名	延長保育事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	--------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数		
		自己評価	委員評価	
(必要性)	核家族が増え、保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加等に伴う保育時間の延長に対する需要が高い事業である。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
		◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	保護者の需要に応じた施設体制が整備されており、就労と育児の両立の支援を推進し、安心して子育てができる環境の整備を図られている。	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
		◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性	延長時間、担当職員数など適正な体制がとられている。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
		◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性	なし。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)		-
合計(最高18点)			14	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益性)	保護者の仕事と子育ての両立を支援し、保護者の負担を少なくし安心して子育て環境を提供している点で、保護者の利益の増進に寄与しているものと思われる。	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	-
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	0	-
		◎町民の理解が得られる事業であるか	1	-
合計(最高4点)			2	-
その他				

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	父母の就労形態や通勤の状況を勘案したときに、必要不可欠な事業となっている。	今後の方向性				
			拡充				
			現状維持		○		
			縮小				
			廃止				
				廃止	縮小	現状維持	拡充
				コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎子育て支援の立場から、継続すべき事業である。 ◎利用者からの要望もあり、必要性の高い事業と考えるが、これ以上の拡大は難しいと考える。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	